

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-536744(P2004-536744A)
 【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)
 【年通号数】公開・登録公報2004-048
 【出願番号】特願2003-517485(P2003-517485)
 【国際特許分類第7版】

B 6 0 T 11/26

【F I】

B 6 0 T 11/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月16日(2005.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両液压ブレーキシステム用作動流体容器(10)であって、少なくとも1つの接続スリーブ(14)を有しており、該接続スリーブ(14)の中には弁部材(20)が変位可能に案内されており、前記弁部材(20)は、ばねで偏倚された第1の位置にて前記接続スリーブ(14)を閉鎖し、第2の位置にて前記接続スリーブ(14)を開通せしめるようになされている、車両液压ブレーキシステム用作動流体容器(10)において、

前記弁部材(20)の周囲面上に、少なくとも1つの半径方向に突出する弾性回り止め要素(32、32')が設けられ、

前記接続スリーブ(14)がその内側の側壁(36)に少なくとも1つの凹部を備え、前記弁部材(20)を前記接続スリーブ(14)内へ導入する際に前記回り止め要素(32、32')が前記凹部に掛止めされるようになされており、前記凹部が、前記弁部材(20)の変位の方向に関するストッパを形成し、該ストッパが前記弁部材(20)の前記第1の位置を画定することを特徴とする、作動流体容器。

【請求項2】

前記接続スリーブ(14)が、前記作動流体容器(10)内に延びており、前記作動流体容器(10)内に位置する前記接続スリーブ(14)の一部分(16)が、前記作動流体容器(10)から突き出た前記接続スリーブ(14)の一部分(18)と実質的に同じ内径を有しており、前記少なくとも1つの回り止め要素(32、32')のための前記少なくとも1つの凹部が、前記作動流体容器(10)内に位置する前記接続スリーブ(14)の前記一部分(16)内に形成されていることを特徴とする、請求項1に記載の作動流体容器。

【請求項3】

前記弁部材(20)が、前記少なくとも1つの回り止め要素(32、32')が配設されている第1の部分(26)と、前記接続スリーブ(14)の開口(30)の方向に向かって延び、前記弁部材(20)用の作動タペットとして働く第2の部分(28)とを備えることを特徴とする、請求項2に記載の作動流体容器。

【請求項4】

前記弁部材(20)の前記第1の部分(26)が、中空円筒形であり、且つ、前記弁部材(20)を偏倚させるばね(22)の一端を受けるようになされており、前記ばね(22

）は、前記作動流体容器（１０）内に位置する前記接続スリーブ（１４）の前記一部分（１６）によって他方の端部を支持されることを特徴とする、請求項３に記載の作動流体容器。

【請求項５】

前記ばね（２２）が、部分的に破られた端壁（２４）によって支持され、該端壁（２４）が、前記作動流体容器（１０）内に位置する前記接続スリーブ（１４）の前記一部分（１６）の一端を形成していることを特徴とする、請求項４に記載の作動流体容器。

【請求項６】

前記ばね（２２）が端壁（２４）によって支持されており、該端壁（２４）が、前記作動流体容器（１０）内に位置する前記接続スリーブ（１４）の前記一部分（１６）を閉鎖しており、前記回り止め要素（３２、３２'）と相互作用する、前記接続スリーブ（１４）の前記内側壁（３６）における前記凹部が、破口（３４）であることを特徴とする、請求項４に記載の作動流体容器。

【請求項７】

前記弁部材（２０）が自身の外側に環状のシールカラー（３８）を備え、該シールカラー（３８）が、半径方向にわずかに突出し、且つ、前記弁部材（２０）が前記第１の位置にあるときに前記環状のシール座（４０）と相互作用するようになされており、前記シール座（４０）が、前記接続スリーブ（１４）の前記内面（４２）に設けられ、且つ、半径方向内側にわずかに突出していることを特徴とする、請求項１ないし６のいずれかに記載の作動流体容器。

【請求項８】

前記環状シールカラー（３８）および前記弁部材（２０）が一樣の同じ材料から作成されており、前記環状シール座（４０）および前記接続スリーブ（１４）が一樣の同じ材料から作成されていることを特徴とする、請求項７に記載の作動流体容器。

【請求項９】

前記弁部材（２０）が自身の外側に環状シールカラーを備えており、該シールカラーが、半径方向にわずかに突出して前記接続スリーブ（１４）の前記内面（４２）と接触状態にあり、前記環状シールカラーがＯリングシール（４６）によって形成されていることを特徴とする、請求項１ないし６のいずれかに記載の作動流体容器。

【請求項１０】

前記環状シールカラー（３８、４６）が、前記弁部材（２０）の前記第１の部分（２６）と前記第２の部分（２８）との間に配設されていることを特徴とする、請求項７ないし９のいずれかに記載の作動流体容器。

【請求項１１】

一つまたはそれ以上の前記弾性回り止め要素（３２）の各々が、舌状部で形成されており、該舌状部が、前記弁部材（２０）に締結されており、且つ、前記弁部材（２０）の中心線（Ｍ）に平行な軸の周りで回動可能であることを特徴とする、請求項１ないし１０のいずれかに記載の作動流体容器。

【請求項１２】

一つまたはそれ以上の前記弾性回り止め要素（３２）の各々が、舌状部で形成されており、該舌状部が、前記弁部材（２０）に締結されており、且つ、前記弁部材（２０）の周方向に対して正接して延びる軸の周りで回動可能であることを特徴とする、請求項１から１０のいずれかに記載の作動流体容器。

【請求項１３】

前記弁部材（２０）が、一体型プラスチック射出成形部品であることを特徴とする、請求項１ないし１２のいずれかに記載の作動流体容器。